

# 運用報告書 (全体版)

第16期<決算日2025年2月17日>

## 米国インフラ関連株式ファンド <為替ヘッジあり>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年2月17日から2047年2月18日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	米国インフラ関連株式ファンド <為替ヘッジあり>	米国インフラ関連株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国インフラ関連株式マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主として、米国の金融商品取引所に上場する株式のうち、米国の生活インフラ関連企業<sup>*1</sup>の株式<sup>*2</sup>にマザーファンドを通じて実質的に投資を行います。</p> <p>※1 生活インフラ関連企業とは、人々の生活に必要な不可欠な設備やサービスを運営・提供する「インフラ運営関連企業」と、インフラの整備・構築等に携わる「インフラ開発関連企業」を指します。</p> <p>※2 米国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託（REIT）にも実質的に投資する場合があります。</p> <p>「インフラ運営関連企業」と「インフラ開発関連企業」の実質投資割合は、マクロ経済環境や市場の動向等を勘案して決定します。また、個別企業の財務状況、利益成長性、株価割安度等の分析を行い組入銘柄を決定します。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。実質的な組入外貨建て資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。</p>	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。実質組入外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として2月、8月の各16日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

愛称：グレート・アメリカ

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり>」は、2025年2月17日に第16期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

## 米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり>

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入 比率	株式先物 比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率				
12期 (2023年2月16日)	円 17,325	円 0	% 0.7	% 96.1	% -	% 2.8	百万円 2,131
13期 (2023年8月16日)	17,827	0	2.9	95.7	-	2.0	2,022
14期 (2024年2月16日)	18,546	0	4.0	97.3	-	2.2	1,924
15期 (2024年8月16日)	19,493	0	5.1	96.3	-	1.8	2,080
16期 (2025年2月17日)	19,183	0	△1.6	93.9	-	2.5	2,182

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

### ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入 比率	株式先物 比率	投資証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2024年8月16日	円 19,493	% -	% 96.3	% -	% 1.8
8月末	19,737	1.3	96.7	-	1.8
9月末	20,457	4.9	92.9	-	3.8
10月末	20,611	5.7	93.7	-	4.4
11月末	21,722	11.4	93.3	-	2.2
12月末	19,850	1.8	94.8	-	2.7
2025年1月末	19,912	2.1	94.1	-	2.4
(期末) 2025年2月17日	19,183	△1.6	93.9	-	2.5

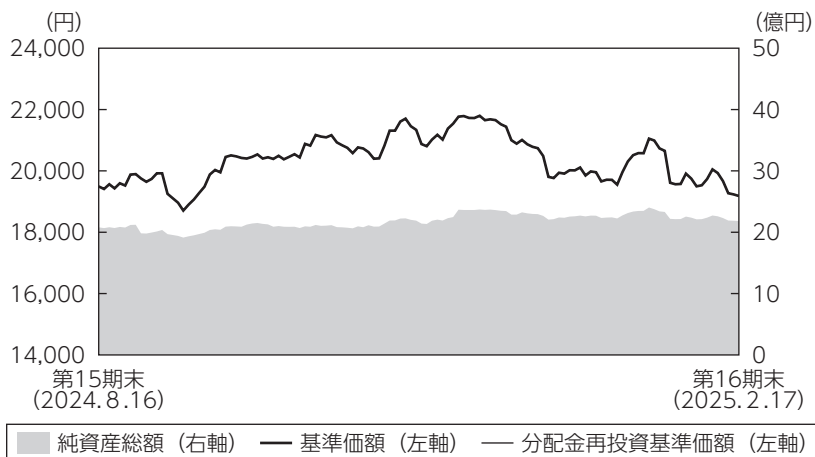
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2024年8月17日から2025年2月17日まで）

### 基準価額等の推移



第16期首：19,493円  
第16期末：19,183円  
(既払分配金0円)  
騰落率：△1.6%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国での利下げ開始や米新政権に対する政策期待、一部大手ハイテク企業への物色などが支援材料となり米国株式市場が期を通じて堅調に推移する中、順調な業績動向が確認できた一部インフラ開発関連銘柄や、通信やR E I T関連などのインフラ運営関連銘柄を中心に、マザーファンドで保有しているインフラ関連銘柄の株価が堅調に推移したことが基準価額の主な上昇要因となりました。一方、為替ヘッジに関わるコストなどが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

米国株式市場は堅調に推移しました。期初から2024年11月までの局面では、米国の利下げ開始や11月の米大統領選挙など重要なイベントを通過した安心感などが支援材料となり、上昇基調となりました。その後、2024年末にかけては、米金融政策を巡り利下げペースが減速するとの観測などが重石となり一時調整する局面も見られましたが、期末にかけては米トランプ新政権に対する政策期待などが支援材料となり、再び堅調に推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

主要投資対象は米国インフラ関連株式マザーファンドであり、マザーファンドの組入比率は期を通じて高位に維持するよう運用しました。また、実質組入外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行いました。

### ●米国インフラ関連株式マザーファンド

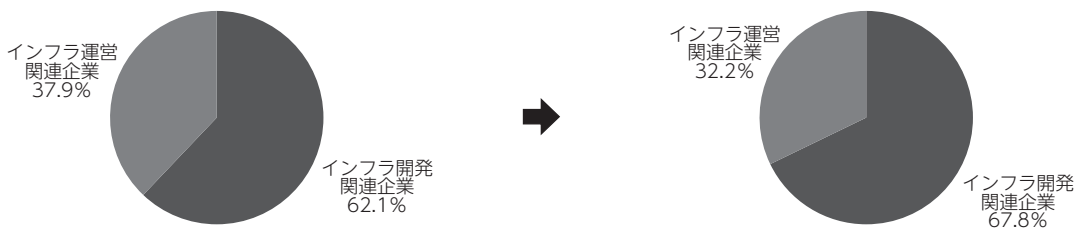
期を通じて、人々の生活に必要不可欠な設備やサービスを運営・提供する「インフラ運営関連企業」と、インフラの整備・構築等に携わる「インフラ開発関連企業」の投資比率が概ね3対7となるよう、ポートフォリオを運営しました。業種別では、素材やREIT関連の投資比率を引き上げた一方で、公益関連の投資比率を引き下げました。

### 【米国インフラ関連株式マザーファンドの運用状況】

#### ○インフラ運営関連企業とインフラ開発関連企業の組入比率

期首（前期末）

期末



※1 組入比率は有価証券評価額に対する割合です。

※2 インフラ運営関連企業とインフラ開発関連企業の区分は委託会社の分類に基づいています。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年8月17日 ～2025年2月17日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	9,182円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、米国インフラ関連株式マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。また、実質組入外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを実施し、為替リスクの低減をめざします。

### ●米国インフラ関連株式マザーファンド

引き続き、米国でのインフラ投資拡大の恩恵を受ける銘柄を選別し投資を行います。米国におけるインフラの老朽化は喫緊の課題であることに加えて、インフラ投資雇用法をはじめ過去に成立した政策的サポートが今後もインフラ投資拡大を後押しすることが期待できることや、米トランプ新政権が掲げる米国第一主義的政策が今後の業績面で追い風になると期待されるインフラ開発関連企業への配分を高めにとったポートフォリオを基本維持する方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第16期		項目の概要
	(2024年8月17日 ～2025年2月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	176円	0.864%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は20,378円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 85)	(0.418)	
(販売会社)	( 85)	(0.418)	
(受託会社)	( 6)	(0.028)	
(b) 売買委託手数料	14	0.070	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 13)	(0.065)	
(投資証券)	( 1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.008	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 1)	(0.005)	
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
(その他)	( 0)	(0.002)	
合計	192	0.943	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

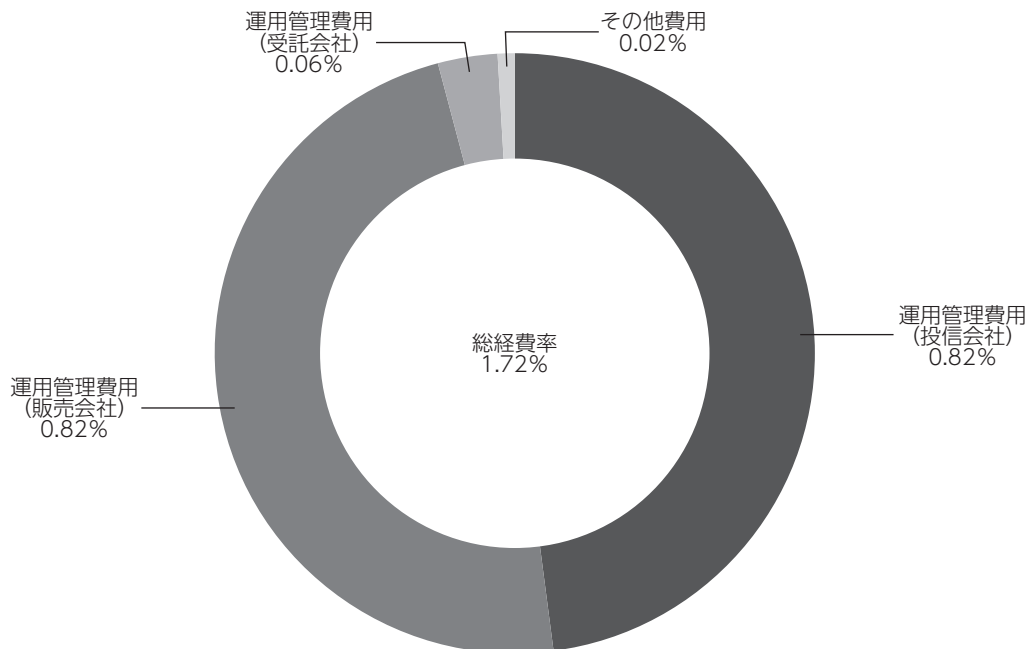
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年8月17日から2025年2月17日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
米国インフラ関連株式マザーファンド	109,197	420,000	107,158	404,000

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	米国インフラ関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	15,683,959千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	20,521,181千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.76

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2024年8月17日から2025年2月17日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
米国インフラ関連株式マザーファンド	586,830	588,870	2,143,960



## ■投資信託財産の構成

2025年2月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国インフラ関連株式マザーファンド	2,143,960	97.3
コール・ローン等、その他	59,662	2.7
投資信託財産総額	2,203,623	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2025年2月17日現在、米国インフラ関連株式マザーファンドは26,285,639千円、97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年2月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=151.91円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年2月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,321,684,008円
コール・ローン等	59,554,764
米国インフラ関連株式マザーファンド(評価額)	2,143,960,852
未 収 入 金	2,118,168,392
(B) 負 債	2,138,906,352
未 払 金	2,120,061,184
未 払 解 約 金	7,966
未 払 信 託 報 酬	18,798,490
そ の 他 未 払 費 用	38,712
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,182,777,656
元 本	1,137,874,813
次 期 繰 越 損 益 金	1,044,902,843
(D) 受 益 権 総 口 数	1,137,874,813口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	19,183円

(注) 期首における元本額は1,067,225,820円、当期中における追加設定元本額は276,619,587円、同解約元本額は205,970,594円です。

## ■損益の状況

当期 自2024年8月17日 至2025年2月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	60,403円
受 取 利 息	60,403
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△48,656,876
売 買 損 益	219,999,071
売 買 損 益	△268,655,947
(C) 信 託 報 酬 等	△18,868,928
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△67,465,401
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	392,892,496
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	719,475,748
(配 当 等 相 当 額)	(630,750,702)
(売 買 損 益 相 当 額)	(88,725,046)
(G) 合 計(D+E+F)	1,044,902,843
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,044,902,843
追 加 信 託 差 損 益 金	719,475,748
(配 当 等 相 当 額)	(631,179,686)
(売 買 損 益 相 当 額)	(88,296,062)
分 配 準 備 積 立 金	392,892,496
繰 越 損 益 金	△67,465,401

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	652,010,347
(d) 分 配 準 備 積 立 金	392,892,496
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,044,902,843
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	9,182.93
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

# 米国インフラ関連株式マザーファンド 運用報告書

第8期 (決算日 2025年2月17日)

(計算期間 2024年2月17日～2025年2月17日)

米国インフラ関連株式マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年2月17日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 比	株式先物率 比	投資証券 組入比率	純資産額
	円	騰落率				
4期(2021年2月16日)	16,147	21.5%	95.0%	—	2.5%	百万円 9,883
5期(2022年2月16日)	19,458	20.5	95.0	—	2.5	16,406
6期(2023年2月16日)	25,190	29.5	96.0	—	2.8	13,906
7期(2024年2月16日)	32,470	28.9	97.6	—	2.2	14,167
8期(2025年2月17日)	36,408	12.1	95.6	—	2.5	26,536

(注1) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

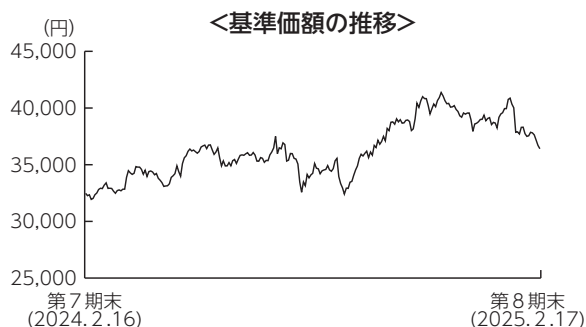
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	投 資 証 券 率 組 入 比
	円	騰 落 率 %			
(期 首) 2024 年 2 月 16 日	32,470	—	97.6	—	2.2
2 月 末	32,922	1.4	96.6	—	2.2
3 月 末	34,784	7.1	96.5	—	2.1
4 月 末	34,903	7.5	96.8	—	1.8
5 月 末	36,114	11.2	96.6	—	1.8
6 月 末	36,071	11.1	96.2	—	1.8
7 月 末	35,558	9.5	96.2	—	1.9
8 月 末	34,651	6.7	97.5	—	1.8
9 月 末	35,626	9.7	94.0	—	3.9
10 月 末	38,808	19.5	94.4	—	4.4
11 月 末	40,379	24.4	94.8	—	2.3
12 月 末	38,877	19.7	95.7	—	2.8
2025 年 1 月 末	38,296	17.9	96.1	—	2.5
(期 末) 2025 年 2 月 17 日	36,408	12.1	95.6	—	2.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2024年2月17日から2025年2月17日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は36,408円となり、前期末比で12.1%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

米国での利下げ開始や米新政権に対する政策期待、生成AI（人工知能）関連需要の拡大期待を受けた一部大手ハイテク企業への物色などが支援材料となり米国株式市場が期を通じて上昇する中、インフラ建設関連などのインフラ開発関連銘柄や、通信やREIT関連などのインフラ運営関連銘柄を中心に、保有しているインフラ関連銘柄の株価が上昇したことが基準価額の主な上昇要因となりました。また、為替市場において円安が進行したことも基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境

米国株式市場は上昇しました。期初から2024年6月までの局面では、生成AI関連の需要拡大期待を受けた一部大手ハイテク企業が牽引役となり、堅調に推移しました。その後は、米国の景気減速に対する懸念を受けて一時調整する局面もありましたが、期の後半にかけては米国の利下げ開始や11月の米大統領選挙など重要なイベントを通過した安心感、米トランプ新政権に対する政策期待などが支援材料となり、上昇基調となりました。

為替市場では、期を通じて小幅に米ドル高円安が進行しました。期初から2024年6月までの局面では、米金融政策を巡る利下げ開始時期に対する不透明感が高まる中で、米ドル高円安が進行しました。その後、9月までの局面では、米国の利下げ開始などを受けて米ドル安円高が急速に進行しましたが、期の後半にかけては米国での利下げペースの減速懸念や日銀の追加利上げ観測の後退などを背景に、米ドル高円安が再び進行しました。

## ポートフォリオについて

期を通じて、人々の生活に必要な不可欠な設備やサービスを運営・提供する「インフラ運営関連企業」と、インフラの整備・構築等に携わる「インフラ開発関連企業」の投資比率が概ね3対7となるよう、ポートフォリオを運営しました。業種別では、素材や公益関連の投資比率を引き上げた一方で、資本財・サービスや通信関連の投資比率を引き下げました。

## 今後の運用方針

引き続き、米国でのインフラ投資拡大の恩恵を受ける銘柄を選別し投資を行います。米国におけるインフラの老朽化は喫緊の課題であることに加えて、インフラ投資雇用法をはじめ過去に成立した政策的サポートが今後もインフラ投資拡大を後押しすることが期待できることや、米トランプ新政権が掲げる米国第一主義的政策が今後の業績面で追い風になると期待されるインフラ開発関連企業への配分を高めにとったポートフォリオを基本維持する方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 証 券)	42円 (39) (2)	0.115% (0.109) (0.006)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	46	0.125	
期中の平均基準価額は36,299円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2024年2月17日から2025年2月17日まで)

### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ア メ リ カ	百株 12,202.33 (1,416.3)	千アメリカ・ドル 103,552 (-)	百株 7,079.18	千アメリカ・ドル 33,641

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 投資証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ		千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
EQUINIX INC		4.737 (-)	4,328 (-)	- (-)	- (-)
CROWN CASTLE INC		6.766 (-)	800 (-)	17.135 (-)	1,788 (-)
AMERICAN TOWER CORP		- (-)	- (-)	5.026 (-)	1,012 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は、合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	21,019,370千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,715,523千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.18

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

## ■利害関係人との取引状況等 (2024年2月17日から2025年2月17日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

### (1) 外国株式

銘 柄	期 首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
COMFORT SYSTEMS USA INC	—	85.99	3,364	511,040	建設・土木
AZZ INC	—	531.31	5,204	790,567	建設関連製品
CASELLA WASTE SYSTEMS INC-A	311.76	435.22	4,846	736,248	商業サービス・用品
UNITED RENTALS INC	60.81	68.14	5,050	767,289	商社・流通業
QUANTA SERVICES INC	205.85	206.15	5,884	893,922	建設・土木
MASTEC INC	443.81	409.81	5,564	845,288	建設・土木
CSX CORP	319.71	—	—	—	陸上運輸
CATERPILLAR INC	71.34	40.67	1,436	218,287	機械
CLEAN HARBORS INC	—	186.86	4,293	652,251	商業サービス・用品
COLUMBUS MCKINNON CORP/NY	459.06	—	—	—	機械
AMERICAN STATES WATER CO	338.87	346.19	2,563	389,479	水道
DYCOM INDUSTRIES INC	—	306.46	5,461	829,598	建設・土木
ATMOS ENERGY CORP	298.13	431.57	6,322	960,516	ガス
NEXTERA ENERGY INC	584.72	832.7	5,667	860,928	電力
GRANITE CONSTRUCTION INC	—	649.52	5,642	857,133	建設・土木
HUBBELL INC	72.31	58.04	2,264	343,980	電気設備
KIRBY CORP	—	327.13	3,546	538,736	海上運輸
MCGRATH RENTCORP	—	418.35	5,036	765,033	商社・流通業
MARTIN MARIETTA MATERIALS INC	—	76.84	4,052	615,598	建設資材
STERLING INFRASTRUCTURE INC	517.68	454.32	6,015	913,768	建設・土木
NORFOLK SOUTHERN CORP	48.56	—	—	—	陸上運輸
NISOURCE INC	—	1,554.46	6,168	936,995	総合公益事業
OSHKOSH CORP	208.82	—	—	—	機械
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	—	732.55	6,131	931,427	総合公益事業
TETRA TECH INC	304.03	1,852.23	5,667	860,999	商業サービス・用品
VULCAN MATERIALS CO	163.18	164.48	4,448	675,775	建設資材

銘 柄	期 首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
WASTE MANAGEMENT INC	222.32	240.46	5,475	831,858	商業サービス・用品	
T-MOBILE US INC	117.99	125.69	3,403	517,082	無線通信サービス	
COGET COMUNICATIONS GROUP	415.11	297.41	2,438	370,472	各種電気通信サービス	
MUELLER WATER PRODUCTS INC	972.88	1,725.02	4,636	704,384	機械	
AECOM TECHNOLOGY CORP	443.01	491.02	4,930	748,966	建設・土木	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	277.42	270.87	3,403	517,064	水道	
XYLEM INC	345.91	331.81	4,292	652,143	機械	
IES HOLDINGS INC	—	121.41	2,761	419,550	建設・土木	
CONSTRUCTION PARTNERS INC	820.17	761.19	5,905	897,075	建設・土木	
WILLSCOT HOLDINGS CORP	877.67	—	—	—	建設・土木	
SUNNOVA ENERGY INTERNATIONAL INC	470.88	—	—	—	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
ARRAY TECHNOLOGIES INC	1,132.66	—	—	—	電気設備	
SHOALS TECHNOLOGIES GROUP INC	1,180.18	—	—	—	電気設備	
JACOBS SOLUTIONS INC	259.63	245.54	3,164	480,722	専門サービス	
CORE & MAIN INC	—	652.84	3,545	538,608	商社・流通業	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC	209.12	154.08	1,955	297,096	建設関連製品	
KNIFE RIVER CORP	—	549.21	5,604	851,408	建設資材	
NEXTRACKER INC	—	609.4	2,882	437,874	電気設備	
EVERUS CONSTRUCTION GROUP INC	—	709.05	3,413	518,524	建設・土木	
BLUE BIRD CORP	—	1,239.05	4,503	684,194	機械	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	12,153.59 30銘柄	18,693.04 38銘柄	166,953 —	25,361,892 <95.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

## (2) 外国投資証券

銘 柄	期 首(前期末)	当 期 末			
	□ 数	□ 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	
EQUINIX INC	—	4.737	4,422	671,816	
CROWN CASTLE INC	10.369	—	—	—	
AMERICAN TOWER CORP	5.026	—	—	—	
合 計	□ 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	15.395 2銘柄<2.2%>	4.737 1銘柄<2.5%>	4,422 —	671,816 —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。



## ■投資信託財産の構成

2025年2月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	25,361,892	94.4
投 資 証 券	671,816	2.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	831,413	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	26,865,122	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、26,285,639千円、97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年2月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=151.91円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年2月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	26,865,122,095円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	492,049,315
株 式(評価額)	25,361,892,506
投 資 証 券(評価額)	671,816,385
未 収 入 金	323,450,735
未 収 配 当 金	15,913,154
(B) 負 債	328,512,187
未 払 金	328,512,187
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	26,536,609,908
元 本	7,288,634,431
次 期 繰 越 損 益 金	19,247,975,477
(D) 受 益 権 総 口 数	7,288,634,431口
1万口当たり基準価額(C/D)	36,408円

(注1) 期首元本額 4,363,377,306円  
追加設定元本額 3,282,383,132円  
一部解約元本額 357,126,007円

(注2) 期末における元本の内訳  
米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり> 588,870,812円  
米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジなし> 6,699,763,619円  
期末元本合計 7,288,634,431円

## ■損益の状況

当期 自2024年2月17日 至2025年2月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	194,185,022円
受 取 配 当 金	180,836,298
受 取 利 息	4,433,250
そ の 他 収 益 金	8,915,917
支 払 利 息	△443
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	759,811,071
売 買 益	2,807,425,271
売 買 損	△2,047,614,200
(C) そ の 他 費 用	△1,816,916
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	952,179,177
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	9,804,401,425
(F) 解 約 差 損 益 金	△927,008,993
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,418,403,868
(H) 合 計(D+E+F+G)	19,247,975,477
次 期 繰 越 損 益 金(H)	19,247,975,477

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。